

9月定例議会の概要

9月定例議会を8月27日から9月26日までの31日間の期間で開催し 鈴鹿市一般会計補正予算案など31議案を可決しました

9月定例議会初日の8月27日には、市長から「令和元年度鈴鹿市一般会計補正予算（第3号）」など26件の議案が提出され、提案説明が行われました。

9月4日には、提出議案に対する質疑を行い、4日・5日・6日・9日・10日の5日間では、18名の議員が一般質問を行いました。

10日には、議案26件を委員会に付託した後、「市街化調整区域における土地利用の有効活用に関する請願書」など4件の請願を委員会に付託しました。10日・12日・13日・20日には、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の9月26日には、付託議案について各委員長から審査結果の報告があり、その後、2名の議員が討論を行い、採決の結果、議案26件はいずれも可決または認定しました。続いて、請願について各委員長から審査結果の報告があり、その後、2名の議員が討論を行い、採決の結果、請願4件はいずれも採択しました。また、委員会発議案3件の意見書案について、提案説明の後、いずれも可決しました。次に、市長から「人権擁護委員候補者の推薦同意について」など2件の議案が追加提出され、提案説明の後、採決の結果、議案2件はいずれも同意することに決定しました。その後、三重県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を行い、指名推選により杉野副市長が当選しました。最後に、議会報告会に議員を派遣することを決定し、散会しました。

各委員会での主な議案審査状況

総務委員会

議案第79号 鈴鹿市及び亀山市におけるはしご自動車に関する連携協約の締結に関する協議について

(概要) 消防力の向上を図り、効率的な行政運営を促進するため、本市および亀山市が連携してはしご自動車の整備に関する取り組みを実施するにあたり、連携協約の締結に関し、亀山市と協議しようとするもの。

質疑

両市の経費負担はどのような割合か。また、35メートル級はしご自動車を必要とする建物の割合は。

答弁

経費負担の割合は、取得費用・整備費用共に本市が62%、亀山市が38%の負担である。それぞれの消防費に関する基準財政需要額に応じた割合などから算出している。

35メートル級はしご自動車の出動対象は中高層の建築物であり、平成30年度では、本市は424棟、亀山市は104棟が対象となっており、本市4、亀山市1の割合となる。



現在の35メートル級はしご車